

総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立下鎌田小学校

校長名 黒澤 義和

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	よく考え工夫する子 思いやりをもち助け合う子 体をきたえやりぬく子
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 1 すすんで学ぶ楽しさを味わわせ、主体的に課題を発見し、見通しをもって課題を追究し解決する力を養う。
- 2 児童の思いに応じた学習形態や指導体制を整え、児童が意欲的に学習し、他者と協同的に取り組めるように支援する。
- 3 ボランティア活動の体験から、自己の生き方を見つめ、より良く生きようとする態度を育てる。
- 4 図書やコンピュータによる情報の収集・処理・取材活動などから、多様な情報を得たり整理分析したりする能力を育てる。
- 5 日本と異なる国の文化に親しみ、地域の伝統文化に触れることで、自国の文化を見直し、多様な価値観に気付く事ができる児童を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
自分で調べたい課題を見付ける。	解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
学んだことを自分の生活の中で生かそうとする。	目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
他人の活動や考えを大切にする。	他者と協同して課題を解決する。

内 容	学習対象(例)	学習事項(例)
第3学年	大好きな町 下鎌田	プールのヤゴを助け、身近な環境問題や生物の生命に関心をもつ。 野菜作り体験から、栄養や体づくりの役割を学ぶ。 体験から、地域の伝統文化を知る。
第4学年	下鎌田地球救出隊！ 10年を振り返ろう！	節水の取り組みを通して、身近な環境について学ぶ。 10年間の成長を振り返り、今までにたくさんの方々にお世話になっていることを知り、感謝の気持ちをもつ。未来に希望をもつ。
第5学年	世界一おいしい1膳のご飯へ	米作り体験を通し、自らの食や食文化について調べ、生活に生かす。
第6学年	自分が生きる道	キャリア教育 職業体験を通して、夢を持つ力、マナーを守る力、感謝する気持ちを養う 体験や働く人との触れ合いから、興味を持つ力を養う。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
【各学年主なテーマ】 3年生 地域の自然と社 4年生 環境と自分自身 5年生 食 6年生 生き方	・児童が探求的に学習できる支援 ・個に応じた指導の工夫 ・他教科との横断的な関連	・地域のゲストティーチャー ・外部からの指導者 ・ボランティア活動に向けた施設側との支援体制	・個人内評価の重視 ・指導と評価の一本化の充実 ・授業分析による学習指導の評価の重視